

平成25年度 地域発 元気づくり支援金事業総括書

事業名	青き誇りプロジェクト
事業主体 (連絡先)	泥百笑 (住所 青木村奈良本 764-11)
事業区分	(3) 教育及び文化の振興に関する事業
事業タイプ	ソフト・ハード事業
総事業費	608,661円 (うち支援金: 439,000円)

事業内容

地域を担う若い世代が地域に誇りを持てるようにするために以下の事業を行なった。

- 1 「平成版青木時報」の発刊
編集委員会が村の出来事や、人にフォーカスをあて、編集し発刊した。
- 2 「文化財の活用神楽殿サウンドフェス」の開催
村の文化財で江戸時代に作られたという回り舞台もある神楽殿を活用するイベントを開催した。
- 3 「青木若者会議」の開催
基調講演を聞き、青木村のこれからのための、ワークショップを行なった。



【神楽殿サウンドフェスの様子】

※1 自己評価 (事業実施率) 【 A 】

事業効果

年間9号の平成青木時報を発行することにより、村で活動している人や、村の魅力などを発信し、多くの方に読んでもらえた。青木若者会議では、村の若い人が集い、意見交換をすることにより、いろいろなアイデアを聞くことができた。文化財活用事業では、約26年ぶりとなる神楽殿を利用したイベントの開催により、約200名近い集客ができ、メディアにも紹介してもらえて、文化財の価値の再認識と発信ができた。また老若男女が集い、交流をする機会にもなった。

【目標・ねらい】

- 地域の情報を共有することで、地域を見つめなおし、新たな魅力や課題を発見する。
- 若者が集い村のこれからのことを考え、次の実践につなげる。
- 文化財を活用し、その価値を再認識し発信する。
- 世代を越えた交流を深める。

※2 自己評価 (事業効果) 【 B 】

今後の取り組み

どれも初めての試みで、手探りで進めてきたが、確かな手ごたえがあった。今後期待をしてくれて、応援してくれる方も増えた。そのため継続していくために再度、元気づくり支援金に応募し、これからのことや収益を生むことなども考えつつ、取り組んでいきたい。今回の反省を活かし、若い視点とアイデアから事業を行ない、多くの方と交流し協力して、よりよい活動をしていきたい。